JAみねのぶ

11月号



JAみねのぶ収穫祭（JAみねのぶ本部事務所裏特設会場　10月10日）

■発行日/令和８年11月1日/No.１４９５号
■発　行/峰延農業協同組合
〒079-0192　美唄市字峰延３７番地
Tel 0126(67)2111　Fax 0126(67)2793
ホームページアドレス　http://www.ja-minenobu.or.jp/
■編　集/総務課　■印刷/空知印刷株式会社

秋の恵みに感謝　ＪＡみねのぶ収穫祭を開催

地域の豊かな農産物を皆様に楽しんでいただくため、これまでは例年8月にＪＡみねのぶ祭を開催してきました。本年は趣向を改め、美味しい新米や旬の秋の味覚を皆様にお届けすることを目的に「ＪＡみねのぶ収穫祭」として、販売を主とした内容へと刷新し、10月10日に峰延農協本部事務所裏の特設会場にて開催しました。

当日は秋晴れの下、多くの来場者で賑わいました。来場者へのプレゼントとして用意した新米2品種の食べ比べセット（各2合、２００名分）は、開始からわずか30分ほどで配布終了となりました。また、峰延手打ちそば愛好会による手打ちそばの無料試食も１５０名分をご用意し、こちらも大変ご好評をいただき、30分ほどで終了するほどの盛況ぶりでした。



会場では、とれたての新米や旬の新鮮野菜の直売のほか、毎年人気のたまねぎとじゃがいもの詰め放題も実施し、多くの方々が収穫の秋を楽しみました。さらに、当ＪＡが手掛けた純米吟醸「まる田　一圓融合」や、北海道米との相性抜群の「北海道米と食べてほしいスープカレー」の販売も行い、地域の食の魅力を発信することができました。



本年の収穫祭は盛況のうちに無事閉会しました。

今後もＪＡみねのぶでは、地域の皆様に愛されるイベントを目指してますので、次回の開催もどうぞご期待ください。

大豆乾燥調製貯蔵施設　受入開始

本年の、大豆の受入は9月24日から始まりました。昨年より1週間程遅いスタートとなりましたが受入基数は８７１基、受入俵数は約１８０００俵となり、全体の約9割の受入を終えています（10月14日現在）。昨年は豊作となりましたが、本年は開花期以降の断続的な降雨による湿害の影響が多く、収量は平年並みとなる見込みです。受入終了後本格的な調製作業を開始し、来年1月中旬の調製終了を目標に、作業を進めてまいります。今後も実需先からの信頼維持に向け、品質管理を徹底するとともに、生産者皆様の農業所得の向上につながるよう、上位等級を目標とした施設操業に努めてまいります。





農協法公布記念日にあたってのメッセージ



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長
樽井　功

昭和22年11月19日に農業協同組合法が公布されてから79年を迎えます。

戦後の食糧不足のなか、農業者自らが力を合わせ、農業生産の向上と農業者の地位向上を図るために農業協同組合が誕生しました。

以来、ＪＡは自主・自立、民主的運営、そして相互扶助の精神を礎に、組合員の営農と暮らしを支え、地域社会の発展に貢献してきました。

一方で、現在の農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期にあります。気候変動による自然災害の激甚化や資材価格の高騰、人口減少による担い手・労働力不足、さらには世界的な食料需給の不安定化など、私たちは多くの課題に直面しています。

こうした時代だからこそ、協同組合の原点に立ち返り、組合員・役職員が心を一つにして行動する「結集力」がこれまで以上に求められています。

第31回ＪＡ北海道大会では、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現を将来ビジョンとして掲げました。その実現に向けては、組合員・ＪＡ・連合会がそれぞれの役割を果たしながら、実践を積み重ねていくことが重要です。

10月16日に開催したＪＡ北海道大会実践フォーラムでは、「結集力」をキーワードに各地の実践事例や課題を共有し、組織全体の機運を高めました。

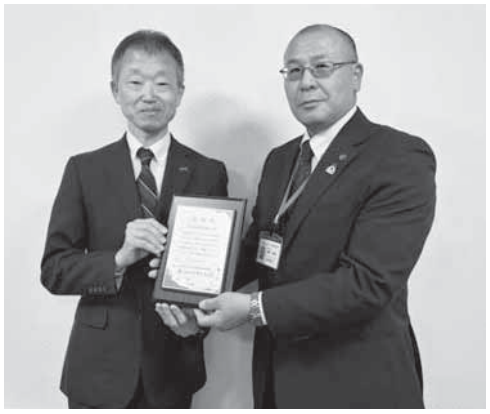
これからも「ひとを育み、ひとと歩む」という視点のもと、人づくりと協同の輪をさらに広げてまいります。

また、国際協同組合年を契機として高まった協同組合への期待を未来へつなげるためにも、農業・食・ＪＡの価値を地域と共有し、次世代へ引き継いでいかなければなりません。私たち一人ひとりが協同組合の担い手として対話を深め、地域住民とのつながりを強めることが、持続可能な北海道農業と地域社会の礎となります。

ＪＡグループ北海道は、これからも組合員・役職員の皆さんとの対話を大切にしながら、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆さまが将来に夢と希望を持って営農と生活を続けられる環境づくりに全力で取り組んでまいります。農協法公布記念日にあたり、協同の力への誇りと感謝を胸に、皆さまとともに未来を切り拓いていくことをお誓い申し上げ、メッセージといたします。

中小機構より普及促進に対する表彰を受ける

令和7年度の共済制度（小規模企業共済）の加入促進における当組合の功績に対し、独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部より共済表彰の贈呈を受けました。組合員皆様のご理解・ご協力に感謝致します。



表彰を受ける伊藤組合長

峰延農協青年部ポプラ会がサツマイモ掘り・直売会を実施

10月3日、峰延農協青年部ポプラ会は、農協生活店舗の駐車場にてサツマイモの販売会を行いました。

今年は「紅あずま」「紅はるか」「シルクスイート」「安納芋」の4品種を、会員が9カ所の圃場でおよそ1100株作付しました。1袋1・8キログラムを500円で販売したところ、3時間ほどでほぼ完売となりました。

山本会長は「今年も無事に収穫でき、品質も上々でした。来年も美味しいサツマイモを皆さんにお届けしたいです」と語りました。



コープさっぽろと脱穀・調理体験を実施



10月10日、美唄市峰延町峰樺３区にある八田重忠さんの圃場にて、コープさっぽろとＪＡみねのぶの共催による脱穀体験が行われました。

当日はコープさっぽろの組合員親子など22名が参加しました。はじめに9月12日に刈り取りとハサ掛けを行った稲を全員で運び、ＪＡ職員から電動脱穀機の使い方を教わった後、交代で作業を進めていきました。

体験終了後は農協3階大会議室へ場所を移し、Ｆｏｏｄｃｏｍのメンバー３名の指導のもと「おにぎり作り体験」が行われました。昼食時には豚汁も振る舞われ、参加したお子さんからは「みんなで食べると楽しい」と、嬉しそうに頬張る笑顔が見られました。

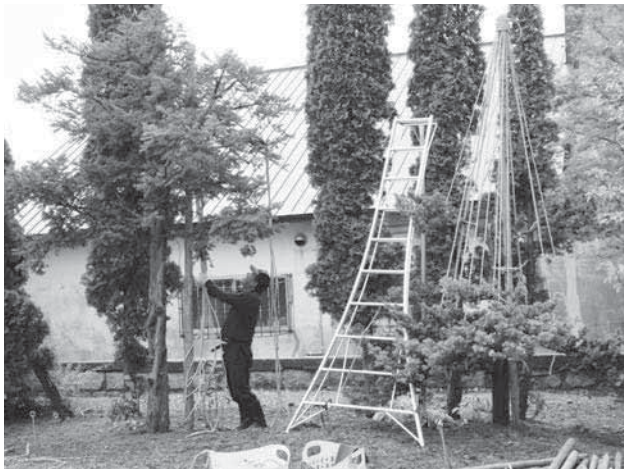








小林篤一翁顕彰公園内の樹木に冬囲い行う



当初は10月13日と14日の両日に予定していた小林篤一翁顕彰公園内の樹木の冬囲いは、14日が雨降りのため15日に変更し、美唄シルバー人材センターに委託して行いました。13日は穏やかな日で、園内には雪虫が多く飛び交い冬の訪れを告げていましたが、15日は晴れでしたが、気温が下がり風の強い日でした。

３名の作業員は手慣れた様子で丁寧に作業を進めていました。園内には高い木も多く、高さのある木は丸太を立てて縄で枝を吊る作業を行っていました。

美唄市長が玄米ばら集出荷調製施設来所



10月5日、美唄市の桜井恒市長が当ＪＡの玄米ばら集出荷調製施設を訪れ、今年の米の作柄や受入状況等を確認しました。同席した安西営農販売課長が「本年、玄米ばら施設は9月10日から稼働し、現在約75％の受入進捗となっています。本年は品質が良く、タンパク値も平年より低い傾向で良食味が期待されます。しかし、直播品種については、平年の8割程の収量であり、原因と対策を分析中です。」と出荷状況を説明。桜井市長は「収量が少ない要因は分析しなければならない。現在の地域の課題は必ず国に伝えて解決するよう、動いていきます。」と述べました。

峰延農協年金友の会　パークゴルフ大会



10月13日、峰延農協年金友の会（白石淳一会長）は三笠市サンパークゴルフ場でパークゴルフ大会を行い、12人が参加し白熱したプレーが繰り広げられました。

開会の挨拶で伊藤組合長は、21℃前後で少し肌寒い気温での開催ですが、安全第一に交流を深めながら楽しくプレーしてくださいと述べました。

参加者は4組に分かれて2つのコースからスタート、日頃の練習の成果を発揮し白熱したプレーをしていました。

今大会優勝者は、男性部門は渡辺幹夫さん（峰延東松盛会）、女性部門は渡辺艶子さん（峰延東松盛会）となり、競技終了後に表彰式が行われました。



第8回（9月定例）理事会開催

9月28日開催の第8回（9月定例）理事会において次の事項が決議されました。

◇決議事項◇

1. 共済規程の一部変更について
2. 規程類の一部変更について
3. リスク評価書の改正について
4. 光珠内3号5号倉庫屋根修繕工事について
5. 28号倉庫屋根の修繕について
6. 持分の減口について

青年部がくず米集荷を実施

ＪＡみねのぶ青年部は、9月12日から10月24日までの毎週土曜日に、くず米の集荷を行いました。

これは青年部による農協事業推進の一環として、有利販売を目指して取り組んだものです。管内全域で集荷活動を行った結果、本年度のくず米の発生量は例年より少なめではありましたが、集荷量は４０００俵を超えました。

おくやみ申し上げます

中西　勇夫さん　（93歳）9月19日
江別市野幌東町54－9

員外監事　安沢　義孝さん　（69歳）10月24日
岩見沢市北本町東2－1－5

報　徳

嫁・姑は反省させる



尊徳翁の家に出入りをしていたある者の家では、嫁と姑の仲が悪かった。ある日、その姑が尊徳翁の許に来て、嫁の行いの悪さを並べ立てて、悪口を言った。

それを聞いて、尊徳翁は、これは、因縁であるからどうしようもないことである。耐え忍ぶ他に方法は無い。ところでお前さんは、若い時に姑を大切にしなかったのではないか。その報いが今出ているのではないか。とにかく、嫁の悪い点を数え上げても何にもならない。今は、自らの言動を見直して、じっと堪えていることである。と、意外につれなく言い放って、帰させられた。

そして、尊徳翁は、次のように話された。この様にするのが良い方法なのである。今見たように言い聞かせれば、姑は必ず反省してみるであろう。そうなれば、この後は、うまく治まる方向に行くのではないか。それを、お座なりなことを言いながら。一緒になって、嫁を悪く言う時には、姑は、ますます嫁との仲を悪くしてしまうだけであるし、そうすることは、父と子の仲を裂き、嫁と姑との間で親しく睦み合う機会を奪うことになる。

良いと思って行うことが、反対の結果を生ませてしまうことになる。良く、気を付けなければならない。

（夜一五六）

11月1日から冬期営業時間

当ＪＡの営業時間が11月1日から翌年3月31日までの期間は「冬期営業時間」となります。各店舗・事務所・施設の営業時間は下表の通りです。皆様のご利用をお待ちしております。

ＪＡみねのぶ　冬期営業時間（令和８年11月１日～令和９年３月31日）

		平日（月曜～金曜）	土　曜	日　曜	祝　日
ビル2階	本部事務所 総務課・金融課（融資）	午前9時～午後5時	休　み	休　み	
ビル1階	金融店舗 金融課（貯金・共済）	午前9時～午後3時 （昼休業:午前11時30分～午後12時30分） ＊為替振込…午前9時～午後3時	休　み	休　み	
ビル1階	ATM（現金自動預払機）	午前9時～午後6時		休　み	
ビル1階	生活店舗	午前9時30分～午後6時		休　み	午前9時30分～午後6時
営農事務所	農業振興課・営農販売課 販売企画課	午前9時～午後5時	休　み	休　み	
営農事務所	営農資材店舗	午前9時～午後5時	休　み	休　み	
利用精米所		午前９時～午後４時 ＊毎週の木曜・金曜:休み ＊木曜の午後1時～2時:引取のみ受付	休　み	休　み	
給油所		午前８時～午後７時		午前８時～午後６時	

【ご留意】

▶**生活店舗** … 営業日・営業時間は、**月曜～土曜・祝日**の**午前９時30分～午後６時**、**日曜日は定休日**です。

▶**金融店舗** … 営業日・営業時間は、**平日（月曜～金曜）**の**午前９時～午後３時**、**祝日と土曜日、日曜日は定休日**です。

◎ 金融店舗（**貯金・共済窓口**業務）は、**午前11時30分～午後12時30分**は**昼休業**です。

◎ **共済窓口**業務の**午後３時以降**は電話等による**事前予約**が必要です。

◎ **ATM**（現金自動預払機）… 稼働は、**月曜～土曜**の**午前９時～午後６時**、**祝日と日曜日は定休日**です。

▶**給油所** … 夏期営業時間より**開店時刻**が30分遅くなり**午前８時**、**閉店時刻**が**月曜～土曜**の平日は30分早くなり**午後７時**、**日曜・祝日**は１時間早くなり**午後６時**になります。

※**12月20日から**月曜～土曜（祝日含む）は**午前８時～午後６時**、**日曜日は定休日**となります。